



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2026^{ねん}年（令和^{れいわ}8^{ねん}年）7^{がつ}月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第304号

じんけんへいわ
人権と平和は

せい
21世紀のキーワード

〒720-0061

ふくやましまるのうち
福山市丸之内1-1-1

TEL 084-924-6789 FAX 084-924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

いま
「ウクライナの今」
いま つづ ひなんせいかつ
～今も続く避難生活～

きかん がつ か にち がつ にち にち
期間 7月5日(日)～9月13日(日)



ふくやま はたら
福山でピアニストとして働くセメネンコ・ハンナさん

2022^{ねん}年2^{がつ}月24^か日のロシア^{れんぽう}連邦（以下ロシア）によるウクライナ^{しんこう}侵攻から4^{ねん}年4^{げつ}カ月が経過しましたが、今^{いま}でも双方^{そうほう}のミサイルやドローンによる攻撃^{こうげき}や被害^{ひがい}状況^{じょうきょう}がテレビなどのメディアを通じて^{つう}報^{ほう}じられています。

2026^{ねん}年2^{がつ}月から5^{がつ}月にかけて国連^{こくれん}高等^{こうとう}弁務^{べんむ}官^{くわん}事務所^{じむしょ}（UNHCR）が

ウクライナについて発表したところでは、国内避難民が約370万人、
国外への避難民が576万2200人以上、人道支援や保護を必要とする人
が1080万人以上となっています。また、数百万人のこどもや若者、大人
が深刻な心理的ストレスを抱えていると伝えています。

今回の企画展では、二つの資料を展示しています。

一つは、2022年6月にウクライナから幼いこども2人を連れて福山市
に避難してこられたセメネンコ・ハンナさんの手記と写真です。パネルでは、
ロシア軍侵攻直後の市街地への攻撃の状況や、地下鉄駅構内での避難生活
など市民の目から見た戦時下の状況が生々しく語られています。侵攻前と
後の様子やハンナさんの思いに触れていただく内容となっています。

もう一つは、ウクライナの就学前のこどもたちの絵です。侵攻直後から
昨年までに描かれた（メールで届いた）絵と昨年福山市立大学の大庭三枝
教授の元にウクライナの就学前学校の先生から「戦禍で暮らすこどもたち
のことを一人でも多くの日本人に知ってもらい平和への行動につなげてほし
い」と届けられた絵の原画です。

ぜひ企画展にお越しいただき、何かを感じていただくとともに私たちに何
ができるかを考えていただく機会にしていきたいと思います。



ふくやまいちりつだいがくおおばみえきょうじゅていきょう
福山市立大学大庭三枝教授提供

先生たちの努力により、ロシアの侵攻直後の戦車の恐怖の
絵から、こどもたちをミサイルから守る傘をシンボルとし
た絵に変わり、少しずつ不安
が取り除かれていっている。



ふくやまいちりつだいがくおおばみえきょうじゅていきょう
福山市立大学大庭三枝教授提供

講演会及び平和コンサート：「今も続く避難生活」

日時： 7月11日（土）10：30～11：30

講師：ピアニスト セメネンコ・ハンナ さん

場所：福山市人権平和資料館

にゅうじょうむりょう
入場無料